

第3回

Kagoshima University
Symposium for infection control

鹿児島大学感染症制御 のためのシンポジウム

平成30年

2月16日(金) 17:00~19:00
鹿児島大学 鶴陵会館 中ホール

© K. P. V. B

一般講演

1) ゲノム変異に基づいた 成人 T 細胞白血病・リンパ腫への新規治療開発

鹿児島大学研究推進機構難治ウイルス病態制御研究センター

血液・免疫疾患研究分野 准教授 吉満 誠 先生

2) 抗 HTLV-1 薬としての ABL1 阻害薬

鹿児島大学研究推進機構難治ウイルス病態制御研究センター

分子病理病態研究分野 特任研究員 児玉 大介 先生

3) トール様受容体 (TLR) を標的とした リガンド設計と活性評価

鹿児島大学大学院理工学研究科化学生命・化学工学専攻 助教

若尾 雅広 先生

特別講演 1

HIV および HTLV-1 の細胞間伝播における tunneling nanotubes の意義

熊本大学エイズ学研究センター・国際先端医学研究拠点施設

教授 鈴 伸也 先生

特別講演 2

麻疹ウイルスを用いた新しい癌治療法の開発

東京大学医科学研究所 実験動物研究施設

教授 甲斐知恵子 先生

■主 催 鹿児島大学研究推進機構難治ウイルス病態制御研究センター

■共 催 鹿児島大学共同獣医学部附属越境性動物疾病制御研究センター

■問い合わせ先 鹿児島大学研究推進機構難治ウイルス病態制御研究センター

tel. 099-275-5946